

(19) 日本国特許庁(JP)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建物本体のほぼ中央部に、1階床から2階天井まで吹き抜ける吹抜け空間が設けられた建物において、

1階に前記吹抜け空間を挟んで居室とキッチンとが設けられており、前記居室と前記吹抜け空間との境界部には、透明な板材で形成された透明仕切壁が設けられており、前記キッチンと前記吹抜け空間とは仕切られていないことを特徴とする建物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の建物において、

前記透明仕切壁の横には、前記吹抜け空間と前記居室とを行き来するための開口部が設けられていることを特徴とする建物。

10

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の建物において、

前記居室の壁に設けられた窓が前記透明仕切壁に対向していることを特徴とする建物。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の建物において、

2階には、前記吹抜け空間に面して居室が設けられており、この居室と前記吹抜け空間とが透明な板材で形成された2階透明仕切壁によって仕切られていることを特徴とする建物。

【請求項 5】

20

請求項 4 に記載の建物において、

前記吹抜け空間は外壁に面しており、この外壁には2階において前記居室の高さとほぼ等しい縦長の大窓が設けられていることを特徴とする建物。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、建物本体のほぼ中央部に吹抜け空間が設けられた建物に関する。

【背景技術】

【0002】

30

吹抜け空間が設けられた建物の一例として特許文献 1 に記載のものが知られている。この建物では、建物の中央にリビングルームを配置し、このリビングルーム上方に上階の天井まで至る吹抜けを設け、前記リビングルームに、一方側の側面がリビングルーム側に面して開口した階段を配置し、この階段を、前記上階の吹抜け側を開口した部屋に接続している。また、リビングルームに隣接してダイニングルーム、このダイニングルームに隣接してキッチンが配置されている。

【特許文献 1】特開 2002-194899 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

40

ところで、上記のような建物では、キッチンとリビングルームとは壁によって仕切られているため、キッチンからリビングルームの様子を直接見ることはできない。特にリビングルームに比較的幼い子供が居る場合に、キッチンに立つ母親はリビングルームの様子を直接見たいが、上記のような建物ではそれはできない。

そこで、キッチンとリビングルームとを仕切る壁を外せば、キッチンからリビングルームの様子を直接見ることができる。しかし、キッチンでは、料理の際等に比較的大きな音が発生するため、この音を直接リビングルームに入れるのはあまり好ましくない。

【0004】

本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、キッチンからリビングルーム等の居室の様子を直接見ることができるとともに、キッチンで生じる音が直接リビングルームに入るこ

50

とを防止できる建物を提供することを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

上記課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、例えば図１に示すように、建物本体１のほぼ中央部に、１階床から２階天井まで吹き抜ける吹抜け空間２が設けられた建物において、

１階に前記吹抜け空間２を挟んで居室３とキッチン４とが設けられており、前記居室３と前記吹抜け空間２との境界部には、透明な板材で形成された透明仕切壁１０が設けられており、前記キッチン４と前記吹抜け空間２とは仕切られていないことを特徴とする。

【０００６】

請求項１に記載の発明によれば、１階に吹抜け空間２を挟んで居室３とキッチン４とが設けられており、居室３と吹抜け空間２との境界部には透明仕切壁１０が設けられており、キッチン４と吹抜け空間２とは仕切られていないので、キッチン４から吹抜け空間２、透明仕切壁１０を通して居室３の様子を見ることができる。

また、キッチン４で生じる音の一部は吹抜け空間２から上方に伝わるとともに、透明仕切壁１０によって遮断されるので、キッチン４で生じる音が直接居室３に入ることを防止できる。

【０００７】

請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の建物において、

前記透明仕切壁１０の横には、前記吹抜け空間２と前記居室３とを行き来するための開口部１２が設けられていることを特徴とする。

【０００８】

請求項２に記載の発明によれば、開口部１２を通して吹抜け空間２と居室３とを行き来でき、また、吹抜け空間２とキッチン４とは仕切られていないので、吹抜け空間２とキッチン４とを行き来できる。したがって、キッチン４から吹抜け空間２を通して居室３に行き来できる。

【０００９】

請求項３に記載の発明は、請求項１または２に記載の建物において、

前記居室３の壁に設けられた窓１５が前記透明仕切壁１０に対向していることを特徴とする。

【００１０】

請求項３に記載の発明によれば、居室３の壁に設けられた窓１５から採り入れた光を透明仕切壁１０を通して、吹抜け空間２、キッチン４へと採り入れることができる。したがって、建物本体１の略中央部に吹抜け空間２を設けても、該吹抜け空間２に容易に採光でき、また、キッチン４にも採光できる。

【００１１】

請求項４に記載の発明は、例えば図２に示すように、請求項１～３のいずれか一項に記載の建物において、

２階には、前記吹抜け空間２に面して居室２０，２１が設けられており、この居室２０，２１と前記吹抜け空間２とが透明な板材で形成された２階透明仕切壁２２，２３によって仕切られていることを特徴とする。

【００１２】

請求項４に記載の発明によれば、吹抜け空間２に面して設けられた２階の居室２０，２１と吹抜け空間２とが２階透明仕切壁２２，２３によって仕切られているので、この２階透明仕切壁２２，２３を通して吹抜け空間２へ採光することができる。また、吹抜け空間２から第２透明仕切壁２２，２３を通して２階の居室２０，２１の様子をある程度見ることができる。

【００１３】

請求項５に記載の発明は、例えば図２および図４に示すように、請求項４に記載の建物において、

10

20

30

40

50

前記吹抜け空間 2 は外壁に面しており、この外壁には 2 階において前記居室 2 0, 2 1 の高さとはほぼ等しい縦長の犬窓 2 5 が設けられていることを特徴とする。

【0014】

請求項 5 に記載の発明によれば、2 階外壁に設けられた犬窓 2 5 から吹抜け空間 2 に採光することができるので、日中は吹抜け空間全体を明るくすることができる。また、この吹抜け空間 2 に採光した光は、1 階のキッチン 4 や居室 3 にも届くので、これらキッチン 4、居室 3 を明るくすることができる。

【発明の効果】

【0015】

本発明によれば、1 階に吹抜け空間を挟んで居室とキッチンとが設けられており、居室と吹抜け空間との境界部には、透明な板材で形成された透明仕切壁が設けられており、キッチンと吹抜け空間とは仕切られていないので、キッチンから吹抜け空間、透明仕切壁を通して居室の様子を見ることができる。また、キッチンで生じる音の一部は吹抜け空間から上方に伝わるとともに、透明仕切壁によって遮断されるので、キッチンで生じる音が直接居室に入ることを防止できる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

本実施の形態の建物は 2 階建てのものである。この建物の 1 階には図 1 および図 2 に示すように、建物本体 1 のほぼ中央部には 1 階床から 2 階天井まで吹き抜ける吹抜け空間 2 が設けられている。吹抜け空間 2 は平面視において東西に長尺な長形状のものであり、南北方向において建物本体 2 の中央部に設けられ、東西方向において略中央部で若干西側よりに設けられている。

【0017】

建物本体 1 には、吹抜け空間 2 を南北に挟んで居室 3 とキッチン 4 とが設けられており、キッチン 4 の東側に隣接して食堂 5 が設けられている。キッチン 4 内の食堂 5 側には調理台 6 が設けられており、その上方は 1 階の天井まで空間となっている。したがって、キッチン 4 からは食堂 5 が見渡せるようになっている。

食堂 5 の東側に隣接して居室 7 が設けられている。この居室 7 と食堂 5 との間には 3 連の引戸 8 が設けられており、この引戸 8 を開けることによって、キッチン 4 から居室 7 を見渡せるようになっている。なお、引戸 8 は 1 階天井までの高さを有する大きなものである。

また、キッチン 4 および食堂 5 と、吹抜け空間 2 とは仕切られておらず、横方向に連続した空間となっている。

【0018】

前記居室 3 はリビングとして使用される部屋であり、この居室 3 と吹抜け空間 2 との境界部には透明仕切壁 1 0 が設けられている。この透明仕切壁 1 0 は、厚さ 1 0 mm の透明な強化ガラス板で形成されたものであり、その上端部は 1 階天井まで達している。また、前記吹抜け空間 2 には、1 階床から 2 階床にかけて直階段 1 1 が設けられている。この直階段の一方の側部には階段手摺 1 1 a が設けられており、他方の側部は前記透明仕切壁 1 0 に接している。

直階段 1 1 は鋼製の桁材を 1 階床と 2 階床とにかけ、この桁材に複数の段板を桁材の長手方向に所定間隔で取り付けただけのものであり、蹴込板は備えていない。階段手摺 1 1 は、フレームで形成されたもので、段板の端部に立設された手摺子と、手摺子の上端に取り付けられた棒状の手摺とで構成されている。したがって、キッチン 4 から直階段 1 1 を見ると、この直階段 1 1、透明仕切壁 1 0 を通して居室 3 を見れるようになっている。

【0019】

また、前記透明仕切壁 1 0 の西側の横には、吹抜け空間 2 と居室 3 とを行き来するための開口部 1 2 が設けられている。また、透明仕切壁 1 0 の東側の横には、食堂 5 と居室 3 との間に設けられた通路 1 3 から居室 3 に出入りするための開口部 1 4 が設けられている

。

また、居室 3 の南側にある外壁には、掃出し窓 1 5 が設けられており、この掃出し窓 1 5 は透明仕切壁 1 0 に対向している。掃出し窓 1 5 は図 3 に示すように、1 階の天井まで達する縦長の大きな引違い式の窓であり、居室 3 の南側の壁ほぼ全体に互って設けられている。この掃出し窓 1 5 の外側には、テラス 1 6 が設けられている。

【0020】

また、前記通路 1 3 の東側に隣接して玄関ホール 1 7 が設けられており、この玄関ホール 1 6 の北側に隣接して前記居室 7 が設けられている。玄関ホール 1 7 と通路 1 3 とを仕切る壁にはドアが設けられており、玄関ホール 1 7 と居室 7 とを仕切る壁にもドアが設けられている。したがって、この玄関ホール 1 7 から通路 1 4 と居室 7 との双方に行き来できる ようになっている。

10

また、玄関ホール 1 7 の奥側には洗面コーナ 1 8 が設けられている。この洗面コーナ 1 8 は、ドア等がないオープンな空間であり、洗面台が設置されている。また、洗面コーナ 1 8 に対向してトイレ 1 9 が設けられており、このトイレ 1 9 には玄関ホール 1 7 から出入りできる ようになっている。

【0021】

建物本体 1 の 2 階には、図 2 に示すように、前記吹抜け空間 2 に面して居室 2 0、2 1 が設けられている。居室 2 0 は夫婦の寝室として使用され、居室 2 1 は子供部屋として使用されるものであり、吹抜け空間 2 を挟んで南北に配置されている。

居室 2 0 と吹抜け空間 2 とは 2 階透明仕切壁 2 2 によって仕切られている。この 2 階透明仕切壁 2 2 は厚さ 10 mm の透明な強化ガラス板で形成されたものであり、その上端部は 2 階天井まで達している。

20

また、居室 2 1 と吹抜け空間 2 とは 2 階透明仕切壁 2 3 によって仕切られている。この 2 階透明仕切壁 2 3 も厚さ 10 mm の透明な強化ガラス板で形成されたものであり、その上端部は 2 階天井まで達している。

また、前記 2 階透明仕切壁 2 2、2 3 の居室側の上端部には、ブラインドが取り付けられており、このブラインドによって 2 階透明仕切壁 2 2、2 3 を覆える ようになっている。ブラインドによって 2 階透明仕切壁 2 2、2 3 を覆うことによって、居室 2 0、2 1 と吹抜け空間 2 との間の視認性を遮断できるようになっている。

【0022】

30

前記吹抜け空間 2 は建物本体 1 の西側の外壁に面しており、この外壁には 2 階において大窓 2 5 が設けられている。この大窓 2 5 は図 4 に示すように、居室 2 0、2 1 の上下の高さとほぼ等しい縦長の窓であり、吹抜け空間 2 の南北方向の長さ全体に互って設けられている。

したがって、平面視長方形の吹抜け空間 2 は、その 2 階部分において、二つの長辺と一つの短辺が透明なガラス板によって形成されている。

【0023】

また、前記居室 2 0 の東側に隣接して大型のウォークインクローゼット 2 6 が設けられており、このウォークインクローゼット 2 6 の東側に隣接してバルコニー 2 7 が設けられている。ウォークインクローゼット 2 6 には、衣類を収納する収納部 2 6 a と、衣類を畳んだり、衣類にアイロンかけを行うための家事カウンター 2 6 b とが設けられている。このようなウォークインクローゼット 2 6 には居室 2 0 およびバルコニー 2 7 の双方から出入りできる ようになっている。

40

また、バルコニー 2 7 の北側に隣接して洗面室 2 8 が設けられており、この洗面室 2 8 の北側に浴室 2 9 がこの浴室 2 9 の西側にトイレ 3 0 が設けられている。また、洗面室 2 8 には洗濯機置場 2 8 a が設けられている。そして、バルコニー 2 7 には洗面室 2 8 から出入りできる ようになっている。

【0024】

前記居室 2 1 の東側に隣接して大型のウォークインクローゼット 3 1 が設けられており、このウォークインクローゼット 3 1 の東側に隣接して居室 3 2 が設けられている。ウォ

50

ークインクローゼット 3 1 には、居室 2 1 および居室 3 2 の双方から出入りできるようになっている。また、このウォークインクローゼット 3 1 には、ホール 3 3 から出入りできるようになっている。

【0025】

本実施の形態の建物によれば、1 階に吹抜け空間 2 を挟んで居室 3 とキッチン 4 とが設けられており、居室 2 と吹抜け空間 2 との境界部には、透明な板材で形成された透明仕切壁 1 0 が設けられており、キッチン 4 と吹抜け空間 3 とは仕切られていないので、キッチン 4 から吹抜け空間 2、透明仕切壁 1 0 を通して居室 3 の様子を見ることができる。

また、吹抜け空間 2 に設けられた直階段 1 1 の一方の側部には階段手摺 1 1 a が設けられ、他方の側部には透明仕切壁 1 0 が直階段 1 1 に接して設けられているので、直階段 1 1 を周囲の部屋（居室 3、キッチン 2、食堂 5）等からよく視認できる。また、直階段 1 1 の他方の側部に透明仕切壁 1 0 が直階段 1 1 に接して設けられているので、この透明仕切壁 1 1 を挟んで直階段 1 1 に隣接する居室 3 に直階段 1 1 を昇降する住人の足音等の騒音が直接届くことがない。さらに、透明仕切壁 1 0 や階段手摺 1 1 a は殆ど光を遮ることがないので、直階段 1 1 周囲の部屋に光が行き渡り易くなる。

さらに、キッチン 4 で生じる音の一部は吹抜け空間 2 から上方に伝わりとともに、透明仕切壁 1 0 によって遮断されるので、キッチン 4 で生じる音が直接居室 3 に入ることを防止できる。

また、透明仕切壁 1 0 の横には開口部 1 2 が設けられており、この開口部 1 2 を通して吹抜け空間 2 と居室 3 とを行き来でき、また、吹抜け空間 2 とキッチン 4 とは仕切られていないので、吹抜け空間 2 とキッチン 4 とを行き来できる。したがって、キッチン 4 から吹抜け空間 2 を通って居室 3 に行き来できる。

【0026】

さらに、居室 3 の南側の外壁に設けられた掃出し窓 1 5 が透明仕切壁 1 0 に対向しているので、掃出し窓 1 5 から採り入れた光を透明仕切壁 1 0 を通して、吹抜け空間 2、キッチン 4 へと採り入れることができる。したがって、建物の略中央部に吹抜け空間 2 を設けても、該吹抜け空間 2 に容易に採光でき、また、キッチン 4 にも採光できる。

また、2 階には、吹抜け空間 2 に面して居室 2 0、2 1 が設けられており、この居室 2 0、2 1 と吹抜け空間 2 とが 2 階透明仕切壁 2 2、2 3 によって仕切られているので、この透明仕切壁 2 2、2 3 を通して吹抜け空間 2 へ採光することができる。また、吹抜け空間 2 から第 2 透明仕切壁 2 2、2 3 を通して 2 階の居室 2 0、2 1 の様子のある程度見ることができる。特に吹抜け空間 2 はキッチン 4 と隣接しているので、キッチン 4 に立つ母親が吹抜け空間 2 に移動して、斜め上を見上げることによって、2 階の居室 2 0、2 1 にいる子供達の様子を見ることができる。

また、吹抜け空間 2 は外壁に面しており、この外壁には 2 階において居室 2 0、2 1 の高さとはほぼ等しい縦長の大窓 2 5 が設けられているので、この大窓 2 5 から吹抜け空間 2 に採光することができる。したがって、日中は吹抜け空間全体を明るくすることができる。また、この吹抜け空間 2 に採光した光は、1 階のキッチン 4 や居室 3 にも届くので、これらキッチン 4、居室 3 を明るくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図 1】本発明に係る建物の一例を示すもので、建物の 1 階の平面図である。

【図 2】同、建物の 2 階の平面図である。

【図 3】同、建物の正面図である。

【図 4】同、建物の西側の側面図である。

【符号の説明】

【0028】

- 1 建物本体
- 2 吹抜け空間
- 3 居室

10

20

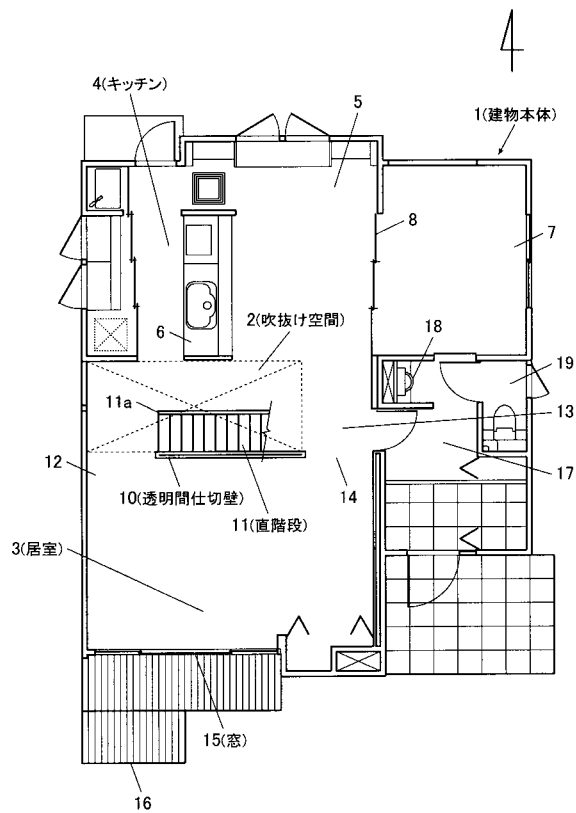
30

40

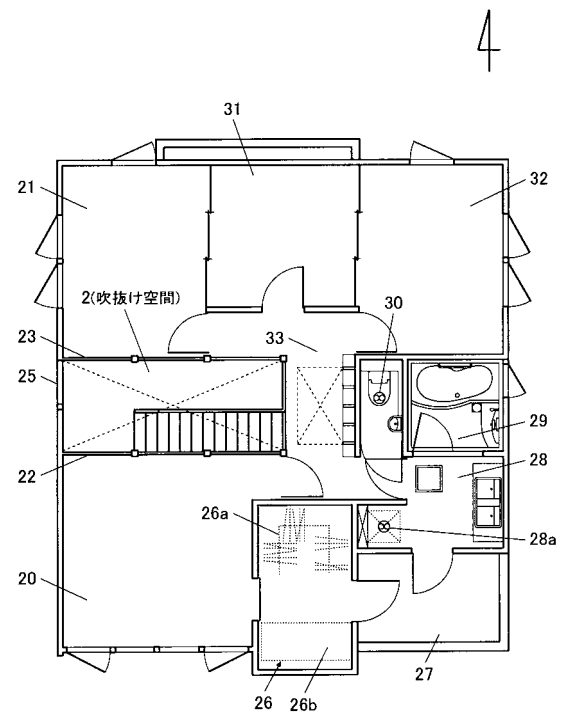
50

- 4 キッチン
- 10 透明仕切壁
- 12 開口部
- 15 掃出し窓（窓）
- 20, 21 居室
- 22, 23 2階透明仕切壁
- 25 大窓

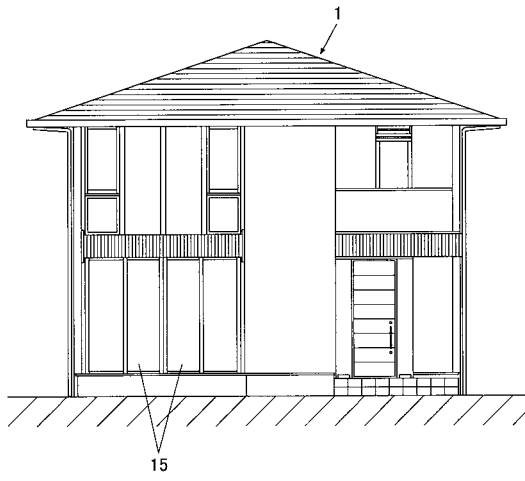
【図 1】



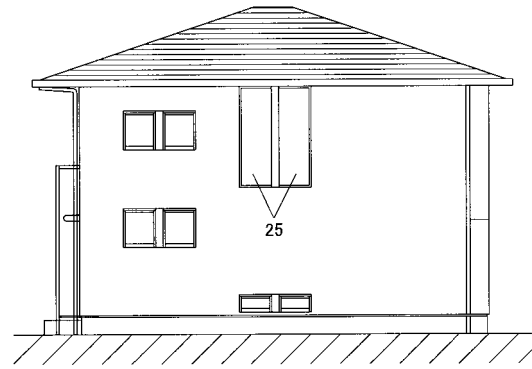
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 大橋 絵里子

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミサワホーム株式会社内

Fターム(参考) 2E025 AA13 AA25